

# 週替わりで一息!!

第2045回 (第56版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

処暑(しよしよ) 厳しい暑の峠を越して一息つく頃。朝夕には涼やかな風が吹き、心地よい虫の声が聞こえてきます。暑さが和らぎ、穀物が実り始める一方で台風の季節の到来でもあります。

七十二候で楽しむ日本の暮らしより

初候「八月二三日～八月二七日」綿柎開(めんぷ(わたのはなしべ) ひらく) 38

「綿を包む萼{がく}が開く」綿を包む柎が開き始める頃。柎とは花の萼(がく)のことです。柎が開き始めるとふわふわとした綿毛が中からとび出してきます。この綿毛が木綿の糸や布になります。中に含まれているのは綿実油。

江戸時代から、雷が多い年は豊作になるとされてきました。実際に雷は空気中に窒素酸化物を発生させ、雨とともに大地に流れこんで稲や植物の成長を助け、肥料の役目を果たします。椎茸などのキノコ類も、雷に反応して成長するのだそうです。「稲妻」は文字通り、稲の妻。黄金色の秋の実りを祈り、無事な収穫を願う気持ちがこめられた言葉です。

和暦コラム歴生活より

20年前の主なニュース (1996年8月19日～8月25日福井新聞縮刷版より)  
・ニコチンを薬物指定・これまで「嗜好品」とされてきたたばこを、米政府が「習慣性毒物」の媒体として包括的な禁煙規制に乗り出すのは先進国では始めてと見られる。当時の大統領はクリントン氏。

## 「本日8月12日の金曜日」2016国際ロータリークラブソウル大会《参加報告た》



■会2016年5月28日～6月1日の期間ソウルKINTEX (韓国国際展示場) で行われなした国際ロータリークラブソウル大会に出席したメンバーの報告会です。■



国際大会に参加されました会員の皆さんからの報告がありました。国際大会は出席してこそその意義があり、言葉には多少なり問題はあるもののまた是非行きたいというものを感じたようです。